公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
鎌倉市	下水道事業	公共下水道	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●		●		

抜本的な改革の取組状況

取組事項	（下水道事業）広域化等

		（実施類型）	（取組の概要）	（実施（予定）時期）
実施済		汚水処理施設の統廃合		年　月　日
		処理場廃止あり / 処理場廃止なし		
		公共下水・流域下水の統合 / 公共下水同士の統合 / 集落排水・公共下水との統合 / 特環下水と公共下水との統合 / その他		
実施予定		汚泥処理の共同化 / 維持管理・事務の共同化 / 最適な汚水処理施設の選択（最適化）		

（取組の効果額）

百万円（年）

（取組の効果額内訳）

		（取組の概要）	（検討状況・課題）
検討中	●	神奈川県汚水処理事業広域化・共同化検討会への参加、また、維持管理の効率化を図るため以前から2つある市内処理場の一元化を検討している。	神奈川県汚水処理事業広域化・共同化検討会では神奈川県汚水処理事業広域化・共同化計画を策定した。 市内処理場の一元化については、多額の建設コストが課題である。

取組事項	民間活用（包括的民間委託）

実施済	●
実施予定	

（取組の概要）

本市が管理する下水道管路施設等の維持管理について、「鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画」に基づき、事後保全型から予防保全型への転換を図るため、広域的な点検・調査及び修繕・改築計画策定の委託化が必要であった。そこで、各業務の技術者・機械・設備等の重複コストを避け、業務の効率化による委託コストの縮減を目的に包括的民間委託を複数年に渡り継続して実施する。

（（実施済のみ）性能発注内容）

1計画策定業務、2点検調査業務、3施設情報の管理・台帳電子化業務、4住民対応等業務

（実施（予定）時期）

令和		
5	3	1
年	月	日

（取組の効果額）

31　百万円(年)

（取組の効果額内訳）

・効果額　31百万円（年）
・内訳　（百万円）
①調査・点検費　年▲19
②施設管理台帳電子化費　年▲8
③施設修繕改築計画、維持管理計画費　年▲3
④ストックマネジメント計画見直し費　年▲3
⑤事故・突発修繕対応業務費　年▽2
計 年▲31

検討中	

（取組の概要）

（検討状況・課題）